

館の運営方針	佐倉市公民館活動計画の基本理念を踏まえ、地域の実態や動向に立脚し、住民の自主活動を育て援助しつつ郷土づくりの意識を一層高める。また、各人の生活課題をみつめ、生涯学習の場としての適切な運営に努める。
ジャンルの目標	親子のふれあいを通して、幼児の自主性と豊かな心を育み、親子の触れ合いを深め、親同士の交流をはかり、地域の中で子育てを目指す。母親が講座に積極的に参加できる時間や機会を設け、孤立しない子育てを実践する機会も図る。

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」	2歳児の成長を見守り、子どもと親が共に成長し「育児は育自」を体験する母親のための講座。また、地域での親子のふれあいや仲間づくりを学ぶ。
②	笑顔で子育て応援講座	子どもが健全に育つための親子で参加できる体験学習講座を行い、親子のふれあいを図る。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策		定員割れを防ぐために、募集を継続的に行うとともに、募集や広報の仕方について工夫したい。
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価		成果
B	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	受講者同士の交流の促進、親子での理解が深まる機会を提供できた。また、子ども同士の交流の順応性の向上になっている。
		課題 事業の充実を図るだけでなく、受講者自らが講座に係る機会を設ける。また、受講中の様子やアンケートからも満足度は高いが、全体的に受講者が少ないのが現状であり、情報の提供に工夫が必要である。

ジャンル	家庭教育
事例発表の事業	お母さんと遊ぼう「ぼっぼちゃんのお家へいこう」

★公民館運営審議委員意見

委員①		総合評価	意見
	B		★ジャンルについて 子育て世代が多く住む地域である。ニーズに合った適正な事業であると考えます。 ★事例発表の事業について 継続して参加できた親子が多く、内容の充実が認められる。

委員②		総合評価	意見
	B		★ジャンルについて 学校教育が目されているが、家庭教育の重要性がもっと注目されるべきと考えます。その中で、地域の中での子育てを支援したり、孤立しない子育てを支援することは極めて大切であると考えます。 ★事例発表の事業について (発表は聞いていませんので的外れかも知れませんが) 講座の趣旨やねらいは極めて重要であるが、あまり固い内容では集まらない点が課題であると推察します。うまくバランスを取りながら趣旨が達成できるよう、引き続き工夫しながらお願いしたい。

委員③		総合評価	意見
	B		★ジャンルについて ・地域のママ友をつくっていく意義は大きい。特に、保育園に通っていない母親にとっては、ママ友をつくるチャンスとなる。 ・子どもの成長を願って参加している割合が高いのは素晴らしい。 ★事例発表の事業について ・子どもの病気等での欠席が冬場に増加するのは仕方ない。 ・親子のコミュニケーション、ふれあいの場となっており、子どもの心の安定につながる事業である。虐待の防止効果もある。 ・土日等を活用して、父親(家族)の参加も促したい。

委員④		★ジャンルについて ・特になし
総合評価	A	★事例発表の事業について ・特になし

委員⑤		★ジャンルについて 親子で共に学び体験し、また、参加者との交流ができる場として良い。
総合評価	A	★事例発表の事業について 子供の低年齢時は親も家にこもりがち。長期講座で欠席の多い時期があっても外に出る重要なきっかけ作りになっている。夏休みの宿題は親にとっても悩みの種。宿題やそのヒントを得られながら子供や地域の方との交流や情報交換もできる。夏の講座は是非継続していただきたい。

委員⑥		各館ともパワーポイントを用い、発表内容が良く整理されていて、聞きやすく分かりやすかった。
総合評価	B	★ジャンルについて ・応援講座は実施の時期を考えて回数を増やすことはできないか。 ・志津公民館の地域性が関わっているのかもしれないが、このジャンルの講座がもう一つ二つ検討されてもよいのではないか。 ★事例発表の事業について ・発表時パワーポイントの中に親や子供の活動の様子を入れて貰ったのはよかった。 ・クリスマス会や託児サービスなど講座展開に見られる工夫・努力を続けて戴きたい。

委員⑦		★ジャンルについて 受講者募集等、事業運営上の課題は散見されるが、目的は時代に合致していると思う。受講者の満足度の中から見えてくるものを、次に活かして欲しい。
総合評価	B	★事例発表の事業について 努力が感じられた。講師に委ねられる部分が多いとは思いますが、内容的には担当者と講師が一緒になった企画と反省の中から新たな展望が拓けてくる。事業名の見直しの結果に期待したい。

委員⑧		★ジャンルについて 子育てにおいて「お母さんと遊ぼう」、「笑顔で子育て応援講座」共親子の関わり合いの事業であり、少子化の中、参加者が少なく苦慮されていますが、大切な事業と考えます。母親だけでなく父親の参加が出来ないか、一考を要します。また、親同士の交流を含めての反省会の場を設けては如何でしょうか。
総合評価	A	★事例発表の事業について 「お母さんと遊ぼう」は親も子どもと共に育っていく＝素晴らしい趣旨です。親も子育てに学ぶことが多々あります。親も子ども講座に参加し良い思い出になることと思います。企画力を発揮し今後も事業に期待します。

委員⑨		★ジャンルについて 家庭教育は2事業のみであるが、地域住民のニーズを満たしているのか検討されたい。
総合評価	B	★事例発表の事業について 「2歳児と親の教室—お母さんと遊ぼう」は、全体で12回に及ぶ事業で、館外活動を含め内容も工夫されていると思います。

委員⑩		★ジャンルについて 子育て支援の環境づくりが積極的に行われており、保護者の足を公民館に向けさせる切っ掛けにもなっていると思います。保護者の方たちが、育児などについての情報交換や相談の場所にもなっていると考えられます。事業内容の充実を図りながら継続していただきたい。
総合評価	A	★事例発表の事業について 育児を体験するお母さん達のための講座が目的で、12回も実施されたことはすばらしい。家庭内だけで行う育児より、多くのお母さんや幼児と一緒にいろんな体験を行うことで、子育てについて多くの知識を得られると思います。また、生活相談や子育てについての意見交換などで、保護者同志の交流を生み出す一助にもなっていると思われれます。毎年事業の継続をお願いします。

委員⑪		★ジャンルについて 志津公民館の2歳児と親の教室「ぼぼちゃんのお家へいこう」は、保護者と幼児のふれあいや、親同志の交流の場を提供する事業として、大変、有意義な企画であると考えます。 絵本の読み聞かせや手遊びを通じて、「育自」を考えながら体験する事の出来る講座です。
総合評価	A	★事例発表の事業について 家庭教育「お母さんと遊ぼう」は、親子のふれあいや遊びを通じて、幼児の自主性と豊かな心を育てられます。 保護者同志の交流は、地域の中での子育てを考えるきっかけを掴むことができる。 事業の継続と活性化を進めて欲しいと思います。

委員⑫		★ジャンルについて 「笑顔で子育て応援講座」…受講者が少ない、がんばって。
総合評価	A	★事例発表の事業について 「2歳児と親子教室(お母さんと遊ぼう)」…子どもの成長を見守り、幼児の自主性を豊かな心を育て、子育てを考える。続けてください。

委員⑬		<p>★ジャンルについて ①(お母さんと遊ぼう)・②(笑顔で子育て応援講座)ともグループでの自分の子どもの普段と違った性格など新たに知る機会なので継続が望ましい。</p> <p>★事例発表の事業について はきはきして発表の態度がよかった。内容等の継続が望ましい。</p>
総合評価	A	

委員⑭		<p>★ジャンルについて 親子のふれあいだけにとどまらず、地域交流なかで子供達を積極的に育成するよう父兄が親交を深め、アイデアをだして継続することが大事だと思う。今後とも試行錯誤しながら継続していただきたい。</p> <p>★事例発表の事業について 2歳児と親の教室。全12回に及ぶ長期講座は、主催者側は大変だと思うが受講者側にとって親子の絆、父兄間のコミュニケーション等得るもの大である。継続をお願いしたい。</p>
総合評価	B	

委員⑮		<p>★ジャンルについて 〇幼児を育てている親をターゲットにし、孤立しない子育てを実践するはっきりとした目標が、評価しやすい反面、何をもって効果が出たと言えるのか、難しい点もあります。地域の特徴として、幼児の子育て家庭の実態はどのように調査されていますか。本当に必要な親にこの講座への参加を意欲づける工夫が今後も求められることでしょう。また、若い父親へのフォローも視野に入れたいです。</p> <p>★事例発表の事業について 〇2歳児と親の教室「お母さんと遊ぼう」は、全12回の充実した計画に沿った活動ですが、この地域で参加者が18組の募集に対してこの数はやはり少ないかなと思います。最後のクリスマス会は1対1で親子が向かい合えるように工夫されたのはすごいです。やはり金曜日だけでは参加者が限られますが、とかく孤立しがちな専業主婦がママ仲間を増やすには良いかもしれません。</p>
総合評価	B	